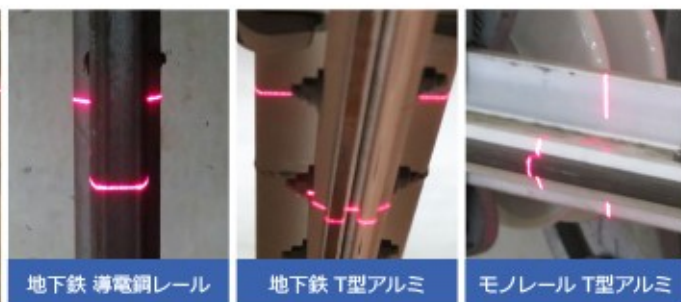


多様な種類の剛体電車線の摩耗・高さ・偏位を測定

剛体電車線用摩耗測定器 特許出願中



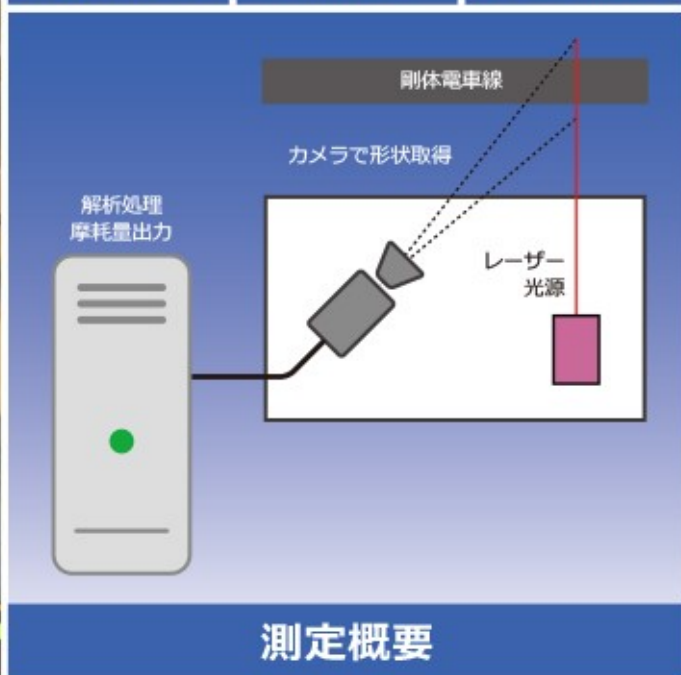
機器構成



地下鉄 導電鋼レール

地下鉄 T型アルミ

モノレール T型アルミ



測定概要

測定器本体
約30kg

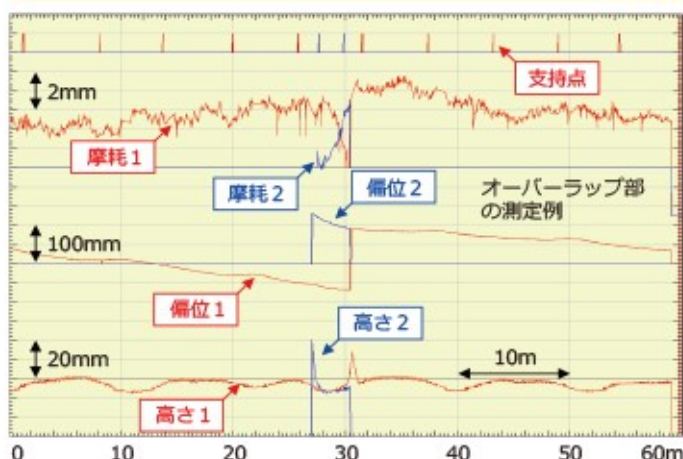
収録装置 (PC)
約15kg

レーザー距離計
治具含め約10kg

- 光切断法により断面形状を測定し、摩耗した形状と新品の形状を比較して摩耗量を解析・出力、剛体の種類によらない測定が可能
- 小型・軽量で保守用車等に簡単に搭載可能
- 走行速度約30km/h、測定間隔20mmで連続的に測定
- 摩耗進行箇所の把握と進行度予測により、取替計画の策定を支援

導電鋼レール方式剛体電車線での測定チャート例

測定実施例



測定項目	概要
1 距離・キロ程	レーザー距離計で移動 距離を測定
2 支持点	がいし等を検出
3 金具位置	継目版、ボルト位置等を出力可能
4 摩耗	導電鋼レール、トロッコ線シングル方式の剛体では各2ch分、ツイン方式では各4ch分出力可能
5 偏位	
6 高さ	

測定項目例

本測定装置は、公益財団法人鉄道総合技術研究所との共同研究で開発しました。



日本電設工業株式会社